

ボタニカルミニキャンドル

色や形のはっきりとしたパーツを選ぶことで、それぞれのパーツが綺麗に透けて見えます。
色味は3色程度にまとめると、よりスッキリとした印象に仕上がります。



【Seriaグッズ】

- ローソク 3号 125分 10本入1個
- ペーパーカップ 100ml 40個入1袋
- ペーパーカップ 205ml 40個入1袋
- デコレーションパーツ 果実(ドライレモン).....1袋
- ナチュラルフラワー あじさいC(オレンジ・緑) 各1袋
- ナチュラルフラワー スターフラワー(黄色).....1袋
- ラッピングコード ペーパーファイア 5mm×2.5m(オレンジ).....1袋

【用意するもの】

ものさし・はさみ・新聞紙(クッキングシート)
耐熱ボウル・鍋・わりばし・ピンセット(竹串)

【できあがりサイズ】

直径:約6.1cm 高さ:約5cm

1 キャンدلに入れるパーツを準備します。

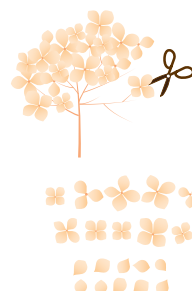
- ① 下図を参考に、ドライレモン・スターフラワー・あじさいをカットします。
ドライレモンは1枚を4等分にカットします。
スターフラワーは3cmの長さにカットします。
あじさいは茎から、花と花びらだけをカットします。
※花のサイズや分量は目安ですので、お好みに合わせて調整してください。



〈ドライレモン〉
2片



〈スターフラワー〉
約3cm:5本



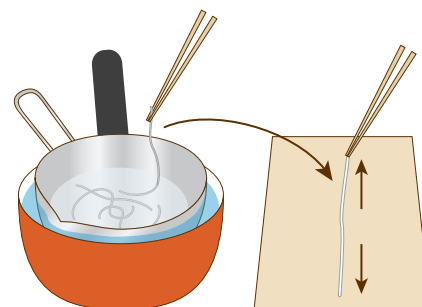
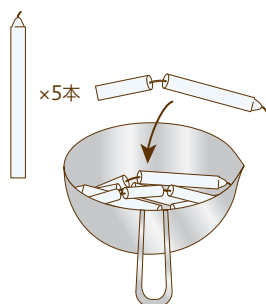
〈あじさい オレンジ〉
花:10個
花びら:10枚



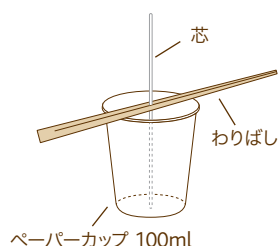
〈あじさい 緑〉
花:5個
花びら:3枚

2 ベースキャンドルを作ります。

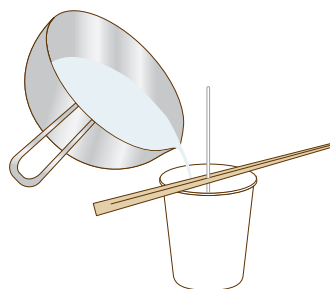
- ① ローソク5本を、芯がちぎれないように手で軽く折って耐熱ボウルに入れます。
※新聞紙やクッキングシートを作業台の上に敷き、作業しましょう。
- ② 鍋に湯せん用のお湯を沸かします。
お湯が沸騰したら弱火にし、①を湯せんにかけます。
時々わりばしでかき混ぜながら、ローソクを完全に溶かします。
※お湯がボウルに入らないように注意してください。
- ③ 溶けたろうの中から芯を全て取り出します。
そのうち1本はキャンドルの芯として使うため、新聞紙やクッキングシートの上で真っすぐに伸ばして約5分乾かします。



- ④ 乾かした芯にわりばしをはさみます。ペーパーカップ 100ml の中心に芯が立つように、わりばしを渡します。



- ⑤ わりばしに触れないようにゆっくりと、溶かしたロウを全て注ぎます。そのままロウが完全に固まるまで、約2時間待ちます。

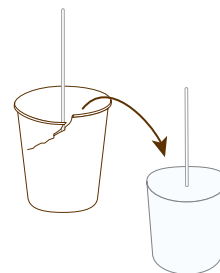


Point

ロウを上手に注ぐコツ

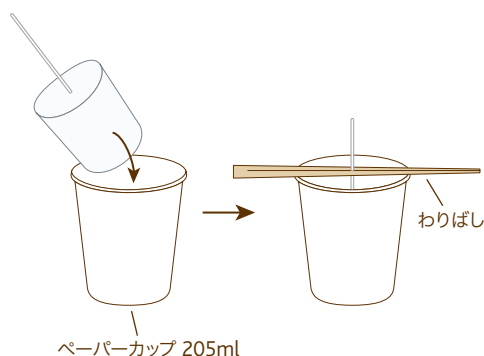
ボウルから直接ロウを注ぎにくい場合は、口をつまんで注ぎ口を作ったペーパーカップに移して注ぐとスムーズです。

- ⑥ 固まったらわりばしを外し、ペーパーカップを破ってベースキャンドルを取り出します。

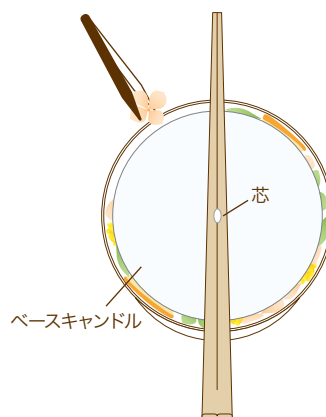


3 パーツを配置し、ロウを注いで固めます。

- ① ペーパーカップ 205ml の真ん中にベースキャンドルを入れて、芯にわりばしをはさんで固定します。



- ② ペーパーカップとベースキャンドルの隙間に、①で準備したパーツを配置します。キャンドルの中心がズレないように確認しながら、完成した時に見えてほしい面をペーパーカップに沿わせてピンセットや竹串でそっと差し込みます。



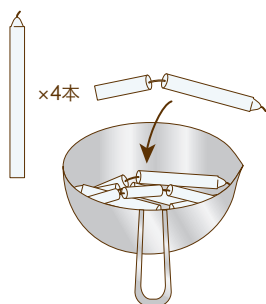
Point

パーツを入れる高さ

火を灯して使用する際の引火を防ぐために、パーツは必ずベースキャンドルの高さからはみ出さないようにします。



- ③ ローソク4本を、手で軽く折って耐熱ボウルに入れます。



- ④ 鍋に湯せん用のお湯を沸かします。お湯が沸騰したら弱火にし、③を湯せんにかけます。時々わりばしでかき混ぜながらローソクを完全に溶かし、ロウの中から芯を全て取り除きます。

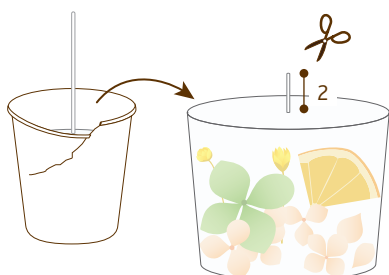


- ⑤ ②のベースキャンドルのの上にかけるようにゆっくりと、溶かしたロウを全て注ぎます。そのままロウが完全に固まるまで、約1時間待ちます。

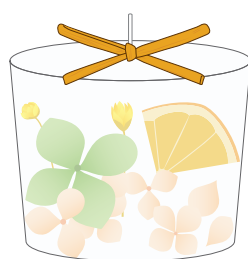


4 キャンドルを取り出してペーパーラフィアを結びます。

- ① 固まったらわりばしを外し、ペーパーカップを破ってキャンドルを取り出します。芯を2cmの長さにカットします。



- ② キャンドルの芯に、25cmにカットしたペーパーラフィアをリボン結びにして完成です。



Point

火を灯して使用する場合の注意点

- ・芯に結んだペーパーラフィアを外してください。
- ・必ずキャンドル用の受け皿を敷いてください。
- ・安定した場所で行い、付近に燃えやすいものや落下する可能性のあるものを置かないでください。
- ・点火中はその場を離れないでください。
- ・長時間の使用は避けてください。
- ・外出・就寝時は、必ず火を消してください。
- ・水での消火は行わないでください。